

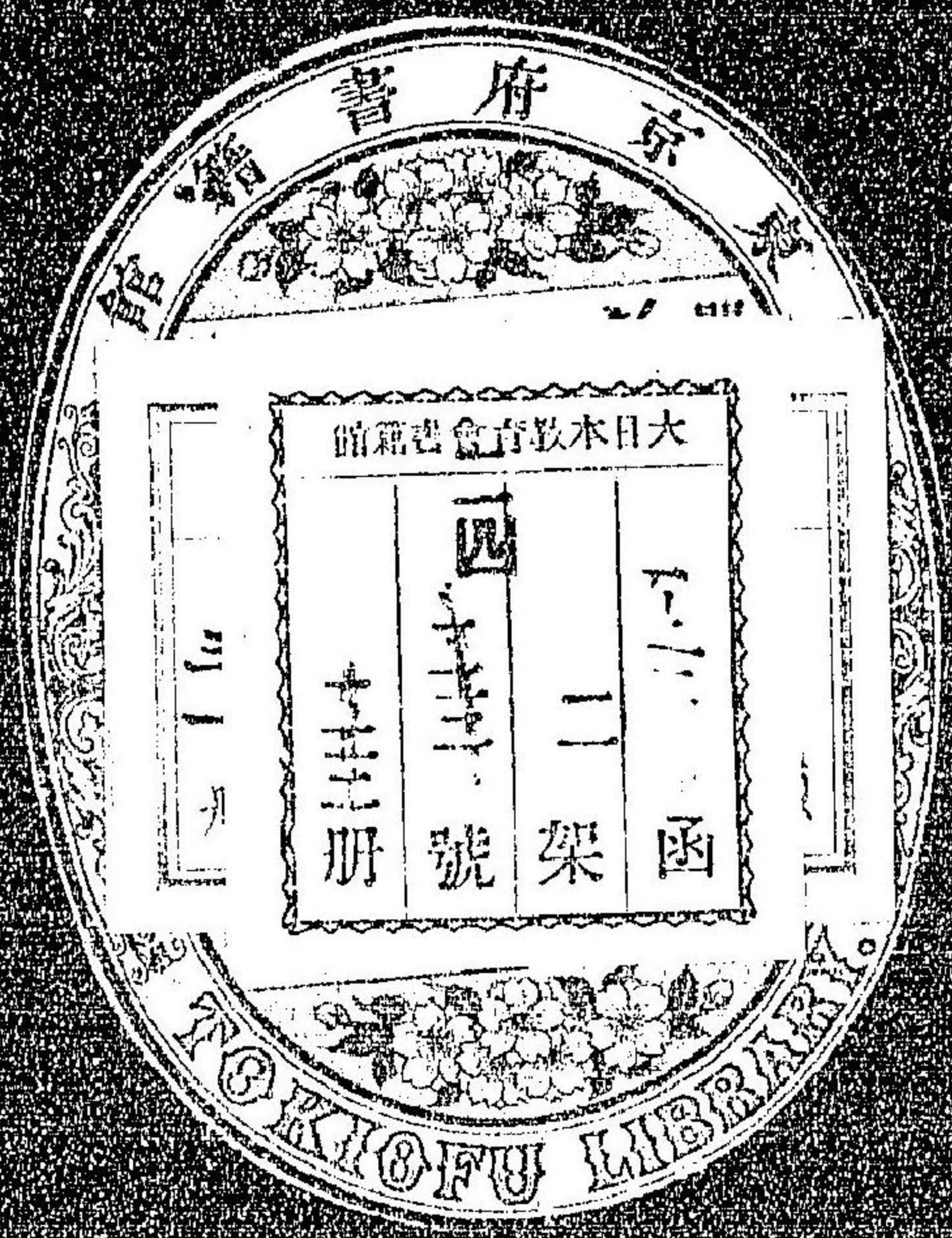
算算通表

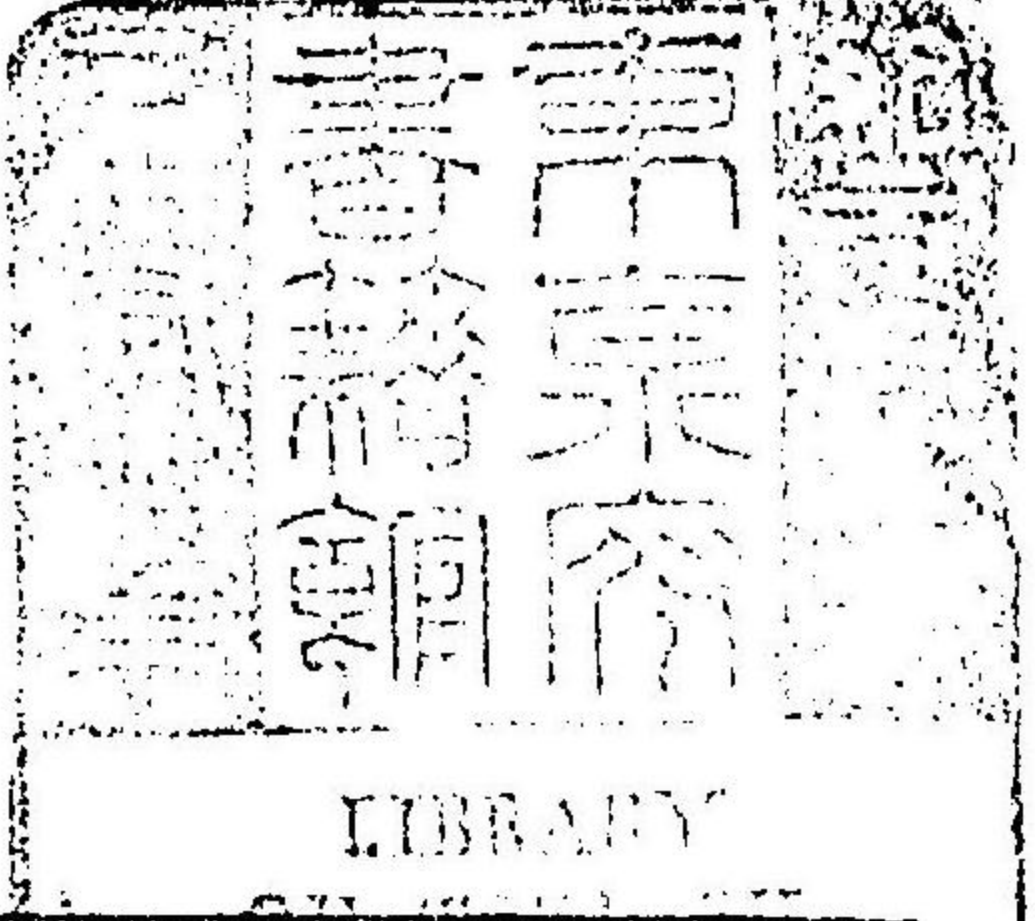
算算通表
卷之十一

第 27

202

共 十 本





山本正至
田澤昌永
編輯

筆算題叢卷

定價金拾八錢

明治十年四月十七日版權免許
同年四月二十三日出版

文林堂
發兌

利率 比準 表	昔時用る所の 利率の稱	割歩	分厘毫
	現今用る所の 利率の稱	割分厘	毫厘
	公債證券及び地租改正 等を用る百分率の稱	割分厘	毫厘

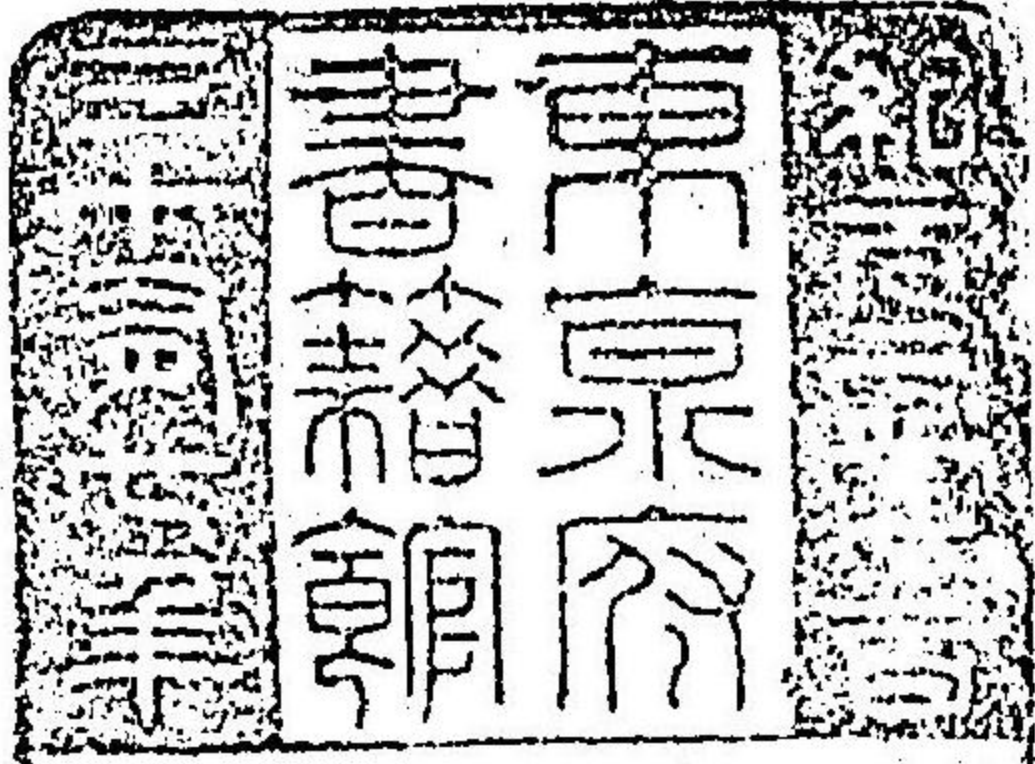
筆算題叢卷之一上
一上

泰西普通の利率にして我朝に於て
近來之を用ひ公債證券及び
地租改正等然と雖も其稱未だ民
間へ普及らざるが故に設題中現今用る所の利率
を交へて日用に便ありしむ

昔時の利率を用るを現今
の利率一割を十銖に當り
分ハ銖と同位あり一厘
を十分一銖に當り

明治十年四月十七日

筆算題叢卷之一上



LIBRARY



一上

明治十年圖書局發行

利率比準表		小數	
昔時用り所の利率の稱	割歩	分厘毫	
現今用り所の利率の稱	割分	厘	
公債證書及び地租改正等を用り百分率の稱	銖		

筆算題叢卷之一上

泰西普通の利率にして我朝は於て
 近來之を用り公債證書及び地租改正等
 然と雖も其稱未だ民
 間、普からざるが故に設題中現今用り所の利率
 を交へて日用に便ありしむ

昔時の利率を用りて現今
 の利率一割々十銖に當り
 分ハ銖と同位あり一厘
 々十分一銖に當り

山本正至 編輯
 田澤昌永

筆算題叢

卷 十一上

明治十年四月十七日版權免許
 同年四月二十三日出版
 文林堂 發行

定價金拾八錢

銖と云ふ元數を百除したる其幾部分をいふあり假令
 一銖と云ふ元數の百分一通常利率のふして之を略書
 されバ% 銖の標識を記載するは各國普通はわら
 等の算書は倣ふに之を用ゆ然若此標識あり即 $\frac{1}{100}$
 を要せずを算用數字の上へ銖字を明書する可多
 或は.01と等しきものと又二銖と百分二略して2%
 と書を即 $\frac{2}{100}$ 或は.02と同一きなり
 若干銖の數を分數或は小數に改書し得其小數に改
 書する最易しとす
 銖に冠する數若百に滿ざる整數あれば小數に改書
 する只二種耳 $1\% = 0.01$ $10\% = 0.10$
 百銖と即百分百ふして一あり故に $150\% = 1.50$ $200\% = 2.00$

等あり
 銖に冠する數一個未滿ある者を小數に改書するは
 下に掲る如し $1\% = \frac{1}{100} \times 0.1 = 0.005$ $3\% = \frac{3}{100} \times 0.1 = 0.00375$
 銖に冠する數分數ふして除し盡ざる者ハ厘位の尾
 へ直ちふ其分數を記すべし $5\% = 0.05$ $1\% = 0.01$ $1\% = 0.01$
 百分率を小數に改書する次の例の如し
 上の百分率現
 今の通稱は
 何割何
 分は當るべ
 きや

7%	=	.07
12%	=	.12
40%	=	.40
100%	=	1.00
300%	=	3.00
525%	=	5.25
$\frac{1}{2}\%$	=	.005
$\frac{1}{3}\%$	=	.00 $\frac{1}{3}$
$\frac{1}{5}\%$	=	.002
$\frac{1}{8}\%$	=	.00 $\frac{1}{8}$
$\frac{1}{8}\%$	=	.00125
$\frac{4}{10}\%$	=	.041
$\frac{75}{100}\%$	=	.7575
$\frac{23}{100}\%$	=	.234
$\frac{30}{100}\%$	=	.307

(1) 次の百分率を小数に改書するを求む

6%	49%	25%	707%	7/4%	73%	200%	330%	82%	30%	50 3/4%	42%	5%	9%	7 1/2%	75 4/9%	98%
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

372%
53 1/2%
700%
1000%
2305%
3672%
38 1/2%
68 2/3%

上の百分率を小数に書改む
るの後現今の利率に稱へ變

□ 國 國 國 國 國 國 國 國 國 國 國 國 國 國 國 國 國

(2) 次の諸數を百分率に改書せん事を要す

.0825	.04	2.00	.77	.705	.20	4.00	.1175	.33 1/3	3.33 1/3	.03 1/2	.052	.074	.094	1.15	.008	8.00	.00 1/2	.0003	.0007	
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

(3) 次の諸分數を百分率に改書する時如何

1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20	
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

(4) 次の百分率を分數に改書する時如何

25%	14%	20%	7%	40%	50%	12%	4%	8%	1 1/2%	9%	16 2/3%	15%	60%	18 2/9%	28%	200%	1/2%
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

百分算の利率元數利子或は百分數の三件中其兩件を知つゝ他の一件を算するの法あり

元數利率の兩件を知つゝ利子を算せんと欲せを先

利率を小數に化し之を元數へ乘し利子を得るあり
其例左の如し

(1) 金二百五十圓の五銖をりよむ幾何

率五銖即百分五を小數に化されば五厘とある之を元金二百五十圓へ乘し

利金十二圓五十錢を得即元金の百分五よりて五銖利に當り蓋し金

例 $\frac{250 \times 0.05}{100} = 12.50$

をボス氏の例と精密なれども煩雜あるが故に今幾多「ベネブル」氏の例を掲ぐ

(2) 金千圓の六銖をりよむ幾許

(3) 金二十八圓九十八錢の八銖をりよむ幾許

(4) 米七十五石の四分半をりよむ幾許

(5) 金六十圓五厘の三十七銖二分をりよむ幾許

(6) 反別九百十七町一反歩の百分の三分一をりよむ幾許

(7) 五十斤の百分の二個二分一をりよむ幾許

(8) 金九百九十五圓の九銖をりよむ幾許

(9) 米七十八石二斗の二割五分をりよむ幾許

(10) 金七十五圓の六銖二分をりよむ幾許

(11) 英貨十斤十元の二十四銖四分をりよむ幾許但一斤の二十元あり一元を十二錢あり

(12) 金百二十二圓五十錢の三十銖四分三分三厘をりよむ幾許

(13) 衡數三十三斤八兩の百分の八と三分一をりよむ幾許

(14) 英貨八斤一元四錢の十二銖二分一分一分一分をりよむ幾許

(15) 金二百四十圓五十錢五厘の十八銖三分二分二分二分をりよむ幾許

100
10
85) 760
76
1750
31
7800
608
64100

と幾許

- (16) 英衡十六斤五兩一錢の百銖をいふと幾許
- (17) 小麥三百石の一割をいふと幾許
- (18) 砂糖二百斤の百分の四と二分一と幾許
- (19) 金四十圓五十錢の五銖をいふと幾許
- (20) 金九百五十圓の七銖をいふと幾許
- (21) 衡數二百四十斤の百分の三と二分一と幾許
- (22) 英尋常衡二百二十頭四百二十三斤の五割をいふと幾許但一頭ハ二千斤一斤ハ十六兩一兩ハ十六錢あり
- (23) 四の三割八分、十六の九割七分七の五十割二十八と

二分の八百四十銖、四分の三百六十五銖、八分の九十銖各を求む

(24) 次の率各よ因て金九十八万七千六百三十四圓三十七錢の利子を算出せんを要す

- 一 $\frac{1}{2}\%$
- 二 $\frac{2}{2}\%$
- 三 $\frac{3}{4}\%$
- 四 $\frac{3}{8}\%$
- 五 $\frac{3}{8}\%$
- 六 $6\frac{3}{8}\%$
- 七 25%
- 八 $4\frac{1}{2}\%$
- 九 900%
- 十 130%
- 十一 $33\frac{1}{3}\%$
- 十二 $37\frac{1}{2}\%$
- 十三 $76\frac{2}{3}\%$

(25) 火薬の七割六分と硝石あり今四千斤の火薬中ふ含む硝石の量を問

(26) 玄米七石六斗を一割五分耗し春時と耗米幾何あるや

(27) 貯米三千八百俵を賣り當て四分五厘

百分の四と二分一をいふ

- 喰米ありとり此俵數幾何あるや
- (28) 時計あり平時は比をれを百分の十六分五厘と
り今正午は改正する時を翌日の正午に至る後
ろ事幾何時あるや
- (29) 米々刈の百分四十を保つ今坪刈一升五合
る時へ反米幾何あるや
- (30) 所持の山林九町八畝二十七歩を丈量積算する小
元反別は三割二分の増ありとり然る時へ増反
別幾何町歩あるや
- (31) 反別百六十二町七反八畝十五歩の一村あり耕地
へ僅小全村の百分四ありとり因て耕地の反別

を問

- (32) 金百八十圓の百分三十五を費を殘金幾何あるや
- (33) 玄米七石六斗を一割二分耗し搗時へ白米幾許
- (34) 山林反別三百六十町歩の内百分の九分二開墾し
て茶を蒔たりとり因る山林の殘反別を問
- (35) 農夫所持の畑より小麦千九十七石を収めあり
小百分十の干減あり此小麦の百分十を賣る時へ
殘石數幾何あるや
- (36) 商人あり資材六千四百八十圓を以て商品を買百
分七十五を損をとり現在保つ所の金員を問
- (37) 甲乙各金百圓を以て空米相場を合せし甲々百

銖の損をふり乙々二百銖の利ありとりの然る時
 乙の利をる所甲より多き事幾何圓あるや
 (38) 六十三石の蜜を百分三十六費を時と尚幾石を殘
 をや

(39) 一万七千八百八十頃の石炭を買其百分六十二を一
 頃金六圓七十五錢と賣其残り金を七圓と賣る代
 金合計幾何あるや

(40) 金四十圓の四分一銖と金三十圓の百分三との和
 と幾何あるや
 (41) 加利福尼亞の鑛夫砂金十五斤半を所持を之を鎔
 解精製をる小減耗と精製料とを合せると百分六を

14000
 3400
 6800

費を因り鑛夫の得る所を問
 (42) 或人金四千圓の公債証券を所持せし其百分十
 五を官有荒蕪地拂請代と上納し残りを二割引
 て讓渡開墾費用に充せしといふ其金幾何ある
 や

(43) 下婢一個年の給料を借りて既一歳の百分六十
 を勤めたり猶幾日勤むる時と一歳と満るや

(44) 或生徒一個年間出校の日數を調査せし其休業日
 と一年の百分二十小當り因て出校の日數を問

(45) 新製鉄焙爐を用り茶生葉五十三貫五百十八匁
 を製せし小生葉の二割二分九厘の製茶を得たり

此撰籤出ー減二割五分ありとり然る時ハ精撰
 セー茶正味幾貫目を得るヤ
 元數と利子とを知つゝ率を算せんと欲せば先利子
 を百倍し元數を以て除を其商即百分率あり其例左
 掲く

(46) 金五圓と二十圓の幾銖も當るヤ

二 金二十圓と元數五圓と利子あり故に元數二十圓を以て利
 子五圓の百倍即五百圓を除く二十五銖を得て答とす

例 $\frac{5 \times 100}{20} = 25$ 或 25%

(47) 金一圓と二十圓の幾銖も當るヤ

- (48) 四厘八毫と二百四十の百分幾許あるヤ
- (49) 百十七の九百の百分幾許あるヤ
- (50) 二百石と五十石の何割も當るヤ
- (51) 英貨三匁と百匁の幾銖も當るヤ 但一斤ハ二十九あり
- (52) 金二圓二十五錢と百十二圓五十錢の幾銖あるヤ
- (53) 四兩三匁と四斤三十兩の百分幾許あるヤ
- (54) 四町三十間と一里の百分幾許あるヤ
- (55) 十度三分と全圓周の百分幾許あるヤ
- (56) 金八圓七十三錢六厘と千二百四十八圓の幾銖も當る
 ヤ
- (57) 三斗六升と三石の幾割も當るヤ

- (58) 三十八と六百の百分幾許あるや
- (59) 金五圓と二千圓の幾銖と當るや
- (60) 金二十錢と三圓の幾銖と當るや
- (61) 英衡三兩と二十五斤の百分幾許あるや 但一斤と十
二兩あり
- (62) 金二十五圓と二十圓の幾銖と當るや
- (63) 金二圓と八圓の百分幾許あるや
- (64) 八分二と二個の百分幾許あるや
- (65) 八個と四分一の百分幾許あるや
- (66) 二分一と六分五の百分幾許あるや
- (67) 三分一と九分五の百分幾許あるや
- (68) 四分一と八分三の百分幾許あるや

- (69) 一千と一千六百の百分幾許あるや
- (70) 金六圓と十八圓の幾銖と當るや
- (71) 金三十六圓十錢と九百二圓五十錢の百分幾許あるや
- (72) 材木四十本と四百本の百分幾許あるや
- (73) 一と一万の百分幾許あるや
- (74) 金五厘と十錢の百分幾許あるや
- (75) 英常用衡二百重と百兩の百分幾許あるや 但一兩は二十
百重也
- (76) 英金衡一斤と常用衡一斤の百分幾許あるや 但金
斤は五百七十
一介は七十八なり
- (77) 英金衡一兩と常用衡一兩の百分幾許あるや 但金
衡一

兩ハ四百八十人あり常用銀一兩ハ四百三十七分二合一あり

- (78) 或貴婦人金三百圓を出し三子に各與をり長子に金百圓を得次子に金二十五圓を得末子に其殘金を悉皆得たりといふ然る時各得る所全額の百分幾許あるや
- (79) 或市街の人口十年前より一萬二千ありしを現今二萬に及べり因て問ふ十年前の人口と今の百分幾許あるや
- (80) 三石の玄米を搗三斗三升の糲あり然る時何割糲ふ當るや
- (81) 五石六斗の玄米を搗白米四石七斗四合を得たり

- 然る時何割糲ふ當るや
- (82) 或人金九千圓の負債あり身代限りの所分を受家産賣却代金六千七百五十圓を出せり然る時債主の損金百分幾許あるや
- (83) 或人宅地と家とを金五千五百圓あり買宅地の價金十圓ありといふ然る時家の價の百分幾許あるや
- (84) 一桶より三十石の酒を醸造し其内三斗二升入の樽より七十五樽を賣る猶全石數の百分幾許を殘るや
- (85) 金三千八百圓の公債証券を三千四十圓より買ふ然る時何割引ふ當るや

(86) 七百五十間の堤塘を築くあり初一周間は百七十五間を築き次の一周間より土工を増加し三百五十間を築り猶築くへき堤塘の全長の百分幾許ありや

(87) 地價三千六百圓ある宅地を所持せり其地租と村費を貸地料より引去る時に收益金百八十圓ありとゆふ然る時に幾銖利に當るや

(88) 閑店の呉服屋を割引を以て諸品を賣るあり正價金六圓二十五錢の糸織と金十二圓六十三錢の帶地を合せて金十四圓十六錢より買たりとゆふ然る時に何割引に當るや

1200.03
400

(89) 或國を實測せて山林原野の反別二千九百八十八町歩耕宅地の反別千六百六十二町歩ありとゆふ然る時に耕宅地と全國の百分幾許あるや

(90) 地球の直經は英國里法あり七千九百十六里あり今地球上最高ある喜馬拉山と海面を脱する事英度二万九千二百尺ありとゆふ然る時に地球直徑の百分幾許あるや

但英國一里は其五千二百八十尺あり利子と率とを既に知つて其元數を知らんと欲せば先利子を百倍の率に割り何割何分等と皆を以て之を除し元數を得其例左の如し

(91) 金十二圓と幾何圓の三銖を以て之を除し元數を得其例左の如し

例三 $\frac{12 \times 100}{3} = 400$

利子金十二圓へ百を乗し千三百圓とある之を三銖より除し元數四百圓を得る問よ合を

- (92) 二十五と如何ある數の百分四よ當るや
- (93) 十二銖の利より利子金十圓を得此元金幾許
- (94) 衡數十八兩目と幾斤の百分の二分一よ當るや
- (95) 四石二斗五升と幾石の百分の八と二分一よ當るや
- (96) 金二十錢と何圓の百分一厘よ當るや 但厘ハ小數あり貨幣の厘はあり
- (97) 一介二分五厘と何斤の百分の四分一よ當るや
- (98) 英貨一元と幾斤の百分の三と三分一よ當るや 但一二十元あり

- (99) 金四十圓と何圓の百分百五十一よ當るや
- (100) 一割四分の利より利子金五十六圓を得たり然る時々元金幾許あるや
- (101) 金八十一圓五十錢と幾圓の百銖よ當るや
- (102) 二十一兩目と何斤の百分の三分三厘よ當るや 三分を小數あり
- (103) 千二百と如何ある數の百分四十よ當るや
- (104) 二十八石八斗と何石の百分の二と五分二よ當るや
- (105) 金四百五十六圓七十五錢と何圓の百五銖よ當るや
- (106) 二百四十の百分一と如何ある數の百分八十よ當るや

- (107) 三百の百分十々如何ある數の百分五々當るや
- (108) 金九圓々何圓の四銖々當るや
- (109) 三石の小麥々如何ある分量の百分六々當るや
- (110) 金九十三圓六十錢々何圓の三銖々當るや
- (111) 金二十五圓々何圓の百分の二と二分一々當るや
- (112) 六十二と二分一々如何ある數の百分六々當るや
- (113) 牧夫其畜ふ所の羊數の百分十二を増加を其増加せし羊二百二十八頭ありとり然る時々從前の羊々幾何匹あるや
- (114) 百七十五々如何ある數の百分の三十三と三分一々當るや

- (115) 金六百二十五圓々幾許圓の一分二分五厘々當るや
- (116) 市街の人口前年々比をれば百分の十六と三分二増加せり其人員三千人ありとり然る時々前年并本年の人口幾何あるや
- (117) 金二千五百圓々如何ある數の百分一の二分一々當るや
- (118) 或人年々金二百七十五圓を剋を即年給の百分二十五々當るといふ然る時々其年給幾何あるや
- (119) 農夫其畜ふ所の若干羊の百分二十五を第一の野の牧一百分十五を第二の野の牧一其残り四十八

- 頭を第三の野は牧をとりぬ因る羊の全數を問
- (120) 勸工場を建設し其製造品賣高の百分三を収む
今収金三十三圓三十三錢ありとりぬ然る時賣
高并諸工人渡金高幾何あるや
- (121) 或國は於て死する者一ヶ月平均三百二十人あり
又毎年死する者平均國民の百分三に當るとりぬ
然る時此國の人民幾何あるや
- (122) 杉林あり満二十年より伐木し金六百七十二圓
を収獲るとりぬ今持主の収益六銖半とされを該
地の改正地價の幾圓に定むるや但地租の地價百分三村
費の地價百分一なり
- (123) 宅地あり一ヶ月貸地料金三十八圓を収む今地主の

- 収益を四銖とされを該地の改正地價を幾圓に定
むるや但地租村費
前より同し
- (124) 硝石と火藥全量の百分七十六を以て適度とて今
三万九千九百斤の硝石を以て火藥を製する時を
幾何斤を得るや
- (125) 一卷の紗羅紗を百分の十一と十七分十三を裁る
其長一丈四尺ありとりぬ然る時を全長幾許
- (126) 或人次男は家産の百分十五を今與せんと約し金
二千五百圓の公債証券と地價金九百五十圓の地券
面とを渡したりとりぬ然る時幾何の家産を有するや
- (127) 或將戰場より歸陣せり因る其戦死の人員を問

全軍の百分の二と二分一ありとりふ再度戦死の人員を問ふ七十五人ありとりふ然る時を全軍の兵員幾何あるや

(128) 英貨を鈍金百分の九十一と三分二を合めり今英金秤三万七千四百磅の鈍金を以て英貨に換る時

幾何所を得るや 但英貨一斤を百二十五文五五金秤一磅を五千七百六十文あり

(129) 或人洋行に商業をあり大利を得其内金四千八百圓を家族へ贈り即利を所の百分十二ありとりふ然る時を全利益幾何あるや

(130) 甲村より乙村へ新道を開き古道の里程百分十五を減せり故に古道より近き事十四町四十二

間ありとりふ然る時を新古両道の里程各幾何あるや

(131) 一家の諸費を計算するに一年金五百二十五圓を費せり今七銖利の公債証券を以て之を充んよる金高何程の証券を要するや

(132) 甲任は赴く其友人乙相共は瀛車に乗して七里を送り因り甲乙は語て既なる路程の百分の五と九分五を旅行せりとりふ然る時を甲赴任の府に幾里を距るや

損益

損益を商業或は貿易等に於て賣買損益の比較を算せん。為に設くる所の問題あり。百分算を活用あり。さしむるの學あり。

元價若賣價より大ある時其差即損あり。又賣價大より元價小ある時其差即益あり。且元價益を益を加へたる者或は元價より損を減せし者其賣價あり。又賣價へ損を加へし者或は賣價より益を減せし者其元價あり。如此類も童生既に加減算に於て辨解し得ると雖も原書を倣ふ多し。爰に明言を損或は益の割合即利率元價元數損或は益利子の中

其兩種を知つて他の一種を算するの例も百分算の條下に掲げたると同である。故に略して記せん。

損或は益を求むる問題

- (1) 元價金百四十五圓の貨物を二分百分三の利を得て賣る此利益幾何あるや
- (2) 英貨二千五百斤の洋品を買ひ之を賣て四分半の損ありとり然る時幾何圓の損あるや
- (3) 金八百五十圓七十五錢にて買たる家具を七分引一割五分にて賣却する時其損金幾何あるや
- (4) 金千四百八十五圓五十錢の紙を買ひ一割五分の利を得る時其益金幾何あるや

- (5) 金九千二十圓よて石炭を買ひ六分半百分六の損をと二分一百分一の損をあし賣る時々損金幾何あるや
 - (6) 金六百六十六圓六十六錢の茶を百分の三分一低價に賣んと約を然る時々幾何を直下せしや
 - (7) 一石よ付金四圓五十錢よて米三石八斗を買ひ一割二分の利を得る時々利益金高幾何あるや
 - (8) 蜜柑一箱よ付金三十錢よて七十五箱を買ひ一分五厘の損をあし賣る時々損金高幾何あるや
- 賣價を求むる問題
- (9) 定價金八十八圓六十五錢の品を三分三厘利率の百分三厘なり引よ賣る時々其價幾何あるや

- (70) 金百二十圓の品を買八分百分八ありの利を得る賣らんときを因る其賣價を求む
- (71) 金一万八千圓の穀物を仕入し相場大よ下落して二割の損をかきとりし其賣價を問
- (72) 金五千五十圓あり紙を買百分の十と五分三の利を得る賣る時々其價幾何あるや
- (73) 或人五千六百圓よて呉服物を仕入尚運送雜費よ元價の一分二分を出金せり今此商業よて出金高の五分を利せんよ幾何圓よ賣て可あるや
- (74) 地價金六千八百五拾圓の宅地を小學校敷地よ買上んとするし地主地價金高よ三割二分の利を請

求せんとの然る時々賣得金幾何あるや
損益の率を求むる問題

- (75) 商品元價金一万三千圓ふり利益金二百九十二圓五十錢を得たり然る時々何割の益に當るや
- (76) 金八十圓の品を買金六十圓に賣る時々何割の損に當るや
- (77) 金百十三圓二十五錢より商品を仕入金百十三圓二十五錢を利せんより幾割の利を得て賣べきや
- (78) 金五千六百一圓三十錢より買入一品を金二千八百圓六十五錢より賣るとの然る時々幾割の損に當るや

- (79) 金二百五十圓に價せし貿易品を金二百圓にて賣る時々幾割の損あるや
- (20) 元價金千二百五十圓の洋品を金千三百七十五圓に賣る時々何割の益あるや
- (21) 元價金千圓の仕入高より賣上げ金高千九十圓ある時々幾割の益に當るや
- (22) 元價金二百三十五圓七十五錢の銅地金を金二百四十五圓十八錢に賣る時々其利を何所幾割あるや
- (23) 金八百圓に買たる毛布を金八百九十四圓四十錢に賣る時々幾割の益に當るや
- (24) 定價金七百四十圓の書籍を金六百二十七圓十五

- (25) 錢^ズ賣^ル時々幾割引^リ當^ルや
元價^ズ金八百十五圓の蠶紙^ズを金二百二十圓五錢^ズ賣^ル其損耗^ズ幾割^リあるや
- (26) 金三百五十圓五十錢^ズよて仕入^ルたる生糸^ズを金七百一圓^ズ賣^ル利益^ズ幾割^リ當^ルや
- (27) 金五百四十圓の賣高^ズふ^ク金四十圓の儲^{アリ}ありといふ然^ル時々幾割^リの利益^ズ當^ルや
- (28) 金六百圓三十五錢四分^一の賣高^ズよて金二十六圓六十四錢四分^三の損^ズをなせり然^ル時々何割^リの損^ズなるや
- (29) 古書^ズを金二百圓^ズ賣^テ金百圓^ズの損^{アリ}あり然^ル時^ハ幾

割の損^ズあるや

- (30) 明治九年^ズ買^{タル}地所^ズを同十年減租^ズの勅^{アリ}ありしより地價騰貴^セしを以^テ之^ヲを金三千五百圓^ズ賣^テ金五百圓^ズの儲^{アリ}ありしより然^ル時々幾割^リの益^ズ當^ルや
- (31) 貨物^ズの原價^ズを求む^ル問題
二割^リの利^ズを得^テ米^ズを賣^金四十圓^ズの益^{アリ}あり因^テ此原價^ズを問
- (32) 原價^ズより百分七^ヲを直引^キし^テ銃器^ズを賣^リ金三百五十圓^ズの損^{アリ}ありしより然^ル時々原價^ズ幾許
- (33) 金二百四十圓^ズの利^ズを得^テ鉛板^ズ若干斤^ズを賣^リしよ

一割二分五厘の益に當りたりふ然る時々原價幾何あるや

(34) 原價の百分の二分一即金高五十三圓の損をある

て穀物若干を賣りたりふ因る此原價を求む

(35) 生糸若干斤を買ひ其代價の百分の三分一即ち金

高十圓五十錢の利を得る賣りたりふ然る時々

原價幾何あるや

今賣價及損益の率を知つる原價を算せんと欲せば

先率を小數に改書し(益を得る時)一個を加へ或は

損をあるたり時)一個の内より減し此和或は差を

以る賣價を除く原價を得るあり

但此法前算する者と同理あれ共原書に依りて例を掲ぐ

$$\begin{array}{r}
 1750 \\
 \times 1.14 \\
 \hline
 700 \\
 15750 \\
 \hline
 19900
 \end{array}$$

(36) 馬を金百七十五圓に賣て四割の利を得たりと

りふ然る時々原價幾何あるや

原價の百分四十の益原價の百分百の原價あり此原價と益とを

合せり者々賣價小し即原價の百分百四十に當るを知る爰に

於て之を小數に改書し以て賣價百七十五圓を除く元價百二十五

圓を得る答と入直ち率百分四十を小數に化し一個を加へ以て賣價を

除く元價を得最簡法とす

(37) 馬を金百七十五圓に賣て四割の損をあるせりたりふ

然る時々原價幾何あるや

原價の百分四十の損原價の百分百の原價あり此原價より損を減して

れが賣價あり即原價の百分六十に當る此を小數に改書し以て

賣價を除く原價二百九十二圓三分二を得る答と入直ち率を小數

に化し一個より減し以て賣價を除くを簡法とす

$$\begin{array}{r}
 1750 \\
 \times 1.40 \\
 \hline
 700 \\
 7000 \\
 \hline
 24500
 \end{array}$$

二之例一

$$100 - 40 = 60\%$$

$$175 \div 0.60 = 291 \frac{2}{3}$$

原價の百分四十の損原價の百分百の原價あり此原價より損を減して

(38) 家を賣し其雜費とて原價の百分三と二分一を拂ひ金五千七百九十圓を入手せりとりふ然る時々原價幾何あるや

(39) 小麥一石よ付金八圓十錢の價よて五百十七石を賣百分八の益ありとりふ然る時々全原價幾何

(40) 一千一百頰の石炭を賣し頰數百分一の減耗あり因り其代金六千八百六圓四分一を請取しとて然る時々此石炭一千一百頰の價を幾何あるや

(41) 書函を十五圓書籍を三十三圓十二錢五厘よ賣し百分の二十と四分一の利を得たりとりふ然る時々書籍及書函の原價合計幾何あるや

(42) 十三反を以り一箇とありたる木綿七箇を一反よ付金六十一錢四分三よ賣り五分ありの損ありとりふ然る時々原價合計幾何あるや

(43) 或人穀物五百石を貯し火難よて一割を失せり今金三千四百八圓七十五錢よて其殘石を賣り相場上一分の益よ當きりとりふ然る時々五百石の原價幾何あるや

若賣價と損益の率を知つて他の賣價の損益を知らんと欲せば第一例よ倣ふて原價を算し他の賣價と相減し原價若他の賣價より少きハ原價を以り之を除きあり其例尤よ掲ぐ

$$\begin{array}{r} 600/12 \\ 50 \\ \hline 25 \\ 250/50 \\ \hline 250.5 \end{array}$$

(44) 牛を金六十圓に賣り二割の益ありとり今若之を金二十五圓に賣る時損益何きあるや其率を問

例二

$$60 \text{圓} \div 1.20 = 50 \text{圓} \text{原價}$$

$$50 \text{圓} - 25 \text{圓} = 25 \text{圓} \text{損}$$

$$25 \div 50 = 50\% \text{率}$$

第一例は做らう原價を算し五十圓を得内他の賣價二十五圓を減し二十五圓残る損といふ若却て他の賣價より原價を減する者の益といふ之を原價五十圓を以て除し百分五十即五割の損といふ問を合す

(45) 金二百二十八圓八十錢に羅紗を賣て四分の益ありと今若之を金二百十五圓六十錢に引下げ賣る時損益如何其率を問

(46) 或寶石を金千三百三十五圓に賣り一割一分の損

ふ當きり若之を金三千圓に賣らむ損益如何其率を求む

(47) 或貨物を金千五百三十七圓九十一錢に賣り一割二分と四分三の益あり若之を金千六百五十七圓二十六錢に賣る時何割の益に當るや

(48) 金一万三千六百五十圓に圃を賣り二分五厘の損をあせり若之を金一万三千九百八十六圓に賣る時損益如何其率を問

(49) 薪若干を金八百五十圓に賣る時十割の益あり之を金千二百七十五圓に賣るを得る其益幾割に當るや

- (50) 或家を金千圓と賣て金二百圓の益あり今之を賣て五割の益を得んとするに幾圓と賣るべきや
- (51) 或品を金四千七百五十九圓七十九錢と賣て其益百分一の七分一り當り今此品を賣て七分の益を得んと何圓の價と定むべきや
- (52) 小麥粉三百二十石を一石と付金七圓五十錢と賣ると一割の損ありとり然る時と其損幾何圓あるや
- (53) 英の一大尺と付金二圓二十五錢にて毛布三百大尺を買ひ之を一大尺と付金二圓五十錢と賣る時と何圓の益あるや又其益の率を求む

- (54) 二百束を以て一積とあせし薪二十五積を一積と付金四圓五十錢と買二割五分の益を得て賣代金の四割を請取る猶殘金何程請取らるべきや
- (55) 金六百圓と地所を買金五十圓と塙を造り金千五百五十圓にて家作を新營せり今八分と四分一の益を得て賣んと其代金を問
- (56) 甲或珍器を金千圓と買五分の益を得て之を乙と賣り乙又五分の益を得て之を丙と賣り丙亦五分の益を得て之を丁と賣りとり然る時と丁の出金幾何圓あるや
- (57) 甲金千四百八十圓の洋品を乙より買ひ其後三分

五厘の損をありて乙は賣り又三分五厘の益を
乙は與へて買戻せりとり然る時を兩度得る所
の乙の利益幾何圓あるや

(58) 甲英貨五十新十三元六錢にて金剛石一個を買ひ
一割の益を得る之を乙は賣り乙又一割の損を
ありて之を丙は賣り然る時を丙の拂ひ代金を
最初の價に比せし何割に當るや

(59) 或人小麥粉六百石を一石は付金九圓二十五錢
にて買其百分の三十三と三分一を一割の益を得て
賣其殘石を一割二分五厘の益にて賣りとり
然る時を合計何割の益に當るや

(60) 一石は付金九圓六十錢の小麥を三千石買初め其
百分十を三分の損より賣り次は百分五十を一分
の益にて賣り其殘りを二分の益より賣りとり
然る時を収益幾何より何割の益に當るや

(61) 綿紗若干を金百十九圓五十錢にて買百分の四分
一損をあり木綿若干を金百四十八圓五十錢に買
一分の損をあり羅紗若干を金五百二十圓に買四
分の益ありとり然る時を賣高合計幾何あるや

(62) 馬を百九十八圓に賣て一割の損をありたり又牛
三頭を百三十五圓に買ひ之を賣て馬の損を償ひ
猶金四十四圓を利せんより牛一頭を何程に賣る

屋きや

(63) 金五千圓よて家を買一千圓よて修繕をあり之を
七千五百圓よ賣る時々損益の割合如何

(64) 金五千圓よて馬若干匹を買之を賣て二割四分の
益あり共二千圓の雜費を出せり故に其殘金を以
て茶を買前の損を償却し猶全元金の五分を利せ
んよ何割の利を得て賣るべきや

(65) 鶏卵一千個賣て二割の益あり其初二百個を一ツ
七厘宛次は五百個を一ツ八厘宛残り三百個を一ツ
九厘宛よ賣りしとり然る時々元價總計幾何あ
るや

平均

平均の貨幣或は同種の諸物其數等しからざる各項
を併せ之を平均する者あり其例尤は掲ぐ

(1) 貿易商あり一周間中金員の收票を問はるよ月曜
日は金五十六圓七十錢火曜日は金四十六圓水曜
日は收領あり木曜日は金六十圓五十錢金曜日は
金六十四圓土曜日は金五十一圓八十錢あり然る
時々此六日間平均一日の收領金員幾何あるや

例 一
56.70
46.00
0.00
60.50
64.00
51.80
6) 279.00
46.50
各日の收領高を合せ金二百七十九圓とある六日を
以て之を除く平均一日の收領金四十六圓五十錢
を得て問は合は

左の諸数の平均を求む

- (2) $\left\{ \begin{array}{l} 125^{\circ} 26. \quad 17^{\circ} 60. \quad 155^{\circ} 82. \\ 27^{\circ} 30. \quad 99^{\circ} 17. \quad 186^{\circ} 28. \\ 25^{\circ} 66.? \end{array} \right.$
- (3) $\left\{ \begin{array}{l} 18^{\text{里}} 26^{\text{町}} 45^{\text{間}} \quad 25^{\text{里}} 32^{\text{町}} 50^{\text{間}} \quad 218^{\text{里}} 16^{\text{町}} \\ 53^{\text{里}} 12^{\text{町}} 40^{\text{間}} \quad 127^{\text{里}} 27^{\text{町}} 15^{\text{間}} \quad 24^{\text{里}} 14^{\text{町}} 6^{\text{間}}? \end{array} \right.$
- (4) $\left\{ \begin{array}{l} 16^{\text{日}} 20^{\text{時}} 58^{\text{分}} \quad 53^{\text{日}} 22^{\text{時}} 49^{\text{分}} \quad 27^{\text{日}} 0^{\text{時}} 48^{\text{分}} \\ 3^{\text{日}} 19^{\text{時}} 57^{\text{分}} \quad 12^{\text{日}} 5^{\text{時}} 42^{\text{分}} \quad 26^{\text{日}} 8^{\text{時}} 17^{\text{分}} \\ 6^{\text{日}} 19^{\text{時}} 27^{\text{分}}? \end{array} \right.$
- (5) $\left\{ \begin{array}{l} 8^{\text{町}} 3^{\text{反}} 7^{\text{畝}} 17^{\text{步}} 36. \quad 26^{\text{町}} 7^{\text{反}} 9^{\text{畝}} 28^{\text{步}} 14. \\ 5^{\text{反}} 3^{\text{步}} 5. \quad 16^{\text{町}} 8^{\text{畝}} 18^{\text{步}} 6. \quad 27^{\text{步}} 3. \\ 1^{\text{反}} 3^{\text{畝}} 7^{\text{步}}? \end{array} \right.$
- (6) $\left\{ \begin{array}{l} 3^{\text{斤}} 36^{\text{兩}} \quad 13^{\text{斤}} 28^{\text{兩}} \quad 4^{\text{斤}} 16^{\text{兩}} \quad 3^{\text{斤}} \quad 675^{\text{匁}} \\ 3^{\text{貫}} 762^{\text{匁}} \quad 5^{\text{斤}} 13^{\text{兩}} \quad 3^{\text{匁}} \quad 27^{\text{斤}} 114^{\text{匁}} \\ 6^{\text{斤}} 7^{\text{兩}} \quad 14^{\text{斤}} 20^{\text{兩}} \quad 3^{\text{匁}}? \end{array} \right.$
- (7) $\left\{ \begin{array}{l} 235^{\text{升}} \quad 623^{\text{升}} \quad 23^{\text{升}} \quad 62^{\text{升}} \quad 2^{\text{升}} 5 \\ 28^{\text{升}} 8 \quad 373^{\text{升}} \quad 48^{\text{升}} \quad 4796^{\text{升}} 7? \end{array} \right.$
- (8) $\left\{ \begin{array}{l} 18^{\circ} 48' 48. \quad 0^{\circ} 36' 27. \quad 97^{\circ} 22' 12. \\ 46^{\circ} 56' 36. \quad 48^{\circ} 47' 19. \quad 105^{\circ} 45' 18. \\ 66^{\circ} 37' 6. \quad 36^{\circ} 0' 3. \quad 13^{\circ} 11' 0. \\ 72^{\circ} 4' 56. \quad 47^{\circ} 29' 53.? \end{array} \right.$

(9) 或旅人日々歩む所の里程を計るふ初日十八里

十九町二日目二十六里三十町三日目十二里八町

四日目九里十四町五日目十里三十四町を旅行せ

りとりふ然る時を平均一日幾里を歩むるや

(10) 風車を以て粉を製するふ一石の小麥を初一日三

時十八分間製し次に二十三日四十分間製し

其次より一日十五時四十分間製し又其次より

日零時五十八分間製せりとりふ然る時の平均

一石の小麥を何時間製し得べきや

(11) 農夫田を耕ふ初日五畝十八歩次日より三畝二十

六歩三日目より四畝八歩四日目より休業し五日目より

三畝二十七歩六日目々五畝歩七日目々三畝十五歩を耕せりとらふ然る時々平均一日何畝歩を耕し得たるや

(12) 茶商あり一周間中茶の賣高を算する小日曜日々休業し月曜日々五百八十三斤廿五匁火曜日ハ七百三十六斤水曜日々九百七十六斤七十目木曜日々五百九十二斤金曜日々八百斤百二十目土曜日々一千二百七十四斤百五匁ありとらふ然る時々此一周間平均一日の賣高幾何斤あるや
(13) 五俵の米あり其入米四斗二升五合、四斗一升九合、四斗三合、三斗九升九合、四斗九合ありとらふ然る

時々平均一俵の入米幾何あるや

(14) 檢温器あり日々温度を檢する小四十一度四十一度半、三十九度、四十二度半、三十七度半、四十四度、四十度半、四十六度あり因て平均の温度を求む
(15) 六分圓儀を以て太陽の高度を測る小初測十二度十七分三十秒二測十二度二十一分三十秒三測十二度二十六分四十秒四測十二度三十一分二十秒五測十二度三十五分十秒六測十二度三十八分四十秒七測十二度四十二分三十秒八測十二度四十六分四十秒を得たり今之を平均する時々幾度を得るや

(16) 帆船を航海せし初日、風和ゆして二十里を進み、二日目、順風ゆして五十八里を進み、三日目、逆風ゆして十三里吹戻され、四日目、風悪くして洋中、船繫し五日目、順風ゆして六十里を駛せしゆ、因て平均一日の航海里數を問ふ。旅商人其利を以て旅費を充る。初日、不足る。金二十八錢。二日目、余金三十五錢。三日目、余金十三圓五十八錢。四日目、余金二十五圓八十錢。五日目、金二圓四十錢不足。六日目、余金九十三錢あり。ゆする時、平均一日の利を以て幾何圓ありや。

(18) 測量方を雇ひし九日間、丈量ありしゆ。一日、量る所、一町三畝、歩九反二十六步、五反八畝二十三步、八反七畝十八步、一町一反三步、一町六反八畝二十五步、九反九畝六步、一町二十八步、九反六畝十八步あり。ゆする時、平均一日幾何町歩を量り得るや。

(19) 一樽、甘金六圓五十錢の酒と金五圓八十錢の酒と金四圓五十四錢の酒と水とを等分し、混する時、一樽の代價何程に當るや。

(20) 或人茶三本を貯へり。今其一本を金十圓五十錢にて賣り、其後一本を金十一圓八十錢にて賣り、其後

殘一本を金九圓五十九錢よて賣りしつゝ然る時平均一本の價幾何あるや

(21) 三千百五十個の鶏卵を鬻ぐ者あり其七分三を金八圓十錢よて賣其三分一を金八圓四十錢よて賣其残り金を四圓九十二錢よて賣り然る時平均一個の價幾何よ當るや

(22) 或工夫三個月間働けり其賃金初月よ十一圓五十五錢次月よ十四圓七十錢末月よ十三圓十二錢五厘を得たりといふ然る時平均一個月の賃金幾何よ當るや

(23) 漁船よ三百八十里の海路を航しつゝ始十五時

二分三十秒よて海路四分一を走り次よ三十一時二十一分よて殘路五分三を走り其殘路五分六を十六時五十六分三十秒よ航し尚其殘路を三時十分よ航し投錨せりといふ然る時平均一里を幾分よて航せしや

若同種物各項其個數を異し其各價も亦異なる者を以て平均二個の價を知らんと欲する類々各個數の和を以て各價の和を除をる其例尤よ詳あり
(24) 五斗を金十一圓よて買たり酒と一石二斗を金二十一圓六十錢よて買たり酒を所持せり今之を混和し水三斗を加へて賣んとを然る時一升の價何程

例 二

50	77.00
720	27.60
30	0
200)	32.60
	.763

 一升の價十六錢三厘を得て答とす

上の如く五斗と代金十一圓を列記し次は其下江位を對せしめ二石二斗と其代金二十一圓六十錢を記し其次は水三斗を前の如く記し水を無代價ある故代金の下ふ零を記し右各相併せ九石右三十三圓六十錢とあるを以て右を除

(25) 鶏卵二百五十個を金一圓七十五錢にて買又三百八十個を金二圓五十八錢四厘買又五百十二個を金三圓三十二錢八厘買又七百三十三個を金四圓六十三錢買又三百二十五個を金二圓四十四錢八厘買へり然る時平均一個の價幾何あるや

(26) 新製造の瀛船を乗試るは始め一時四十三分間九里八町走り次は二時四十八分間十六里十二

町走り次は三時五分間二十里二十町走り終り一時四十四分間十三里走り終り然る時平均一時間の航カ幾何里あるや

(27) 茶商茶を仕入るは始め十二貫八百目を價金四十圓次は二十三貫二百目を價金五十八圓又十八貫目を價金四十三圓七十五錢買たり然る時平均一斤の價何程あるや

(28) 果商林檎を甲乙丙丁の四家買へり今甲家にて八百七十二個を金八十七錢乙家にて六百七十二個を金一圓丙家にて七百十六個を金一圓三十錢丁家にて九百八十九個を金一圓六十錢

て購得此運賃合て金十四錢三厘を拂つりとのり

然る時平均一個の價幾何あるや

(29) 甲乙丙丁戊の筆生を備ふる地券を書しむる甲

と五時間と二十八枚乙と七時間と四十枚丙と六

時間と三十五枚丁と七時三十分間と三十九枚戊

と八時三十分間と四十五枚を書せり然る時此

五人の筆生平均一時間と幾枚を書得へきや

(30) 澳地利と人口一千八百二十二萬四千五百人新聞

局二百所泊耳義と人口四百八十三萬六千五百六

十六人新聞局百八十所連馬と人口百七十三萬一

千五百十四人新聞局二百所佛蘭西と人口三千六百萬

フランス

人新聞局一千七百七十一所耳曼と人口四千萬人
新聞局二千五百六十六所英吉利と人口三千一百
二十二萬二千六百十三人新聞局一千二百九十七
所西班牙と人口一千六百三十五萬二千六百二十五
人新聞局二百七十九所希臘と人口百三十二萬五
千三百四十一人新聞局七十七所あり今此八個國
を平均する時新聞局一所と付國民幾何人と當
るや 但一人未滿ハ四拾
五入を以て算す

若同種物各項其個數及一個の價を異とする者を
て平均一個の價を算せんと欲せ先各項特別の物
價を個數へ乘し各の相乘數を併せ之を各個數の和

を以て除き其例左の如し

(31) 或商一斤の價金四十錢の珈琲四斤と一斤の價金三十錢の珈琲五斤と一斤の價金五十錢の珈琲六斤を混合して賣んとする時平均一斤の價幾何に當るや

例 三

$$\begin{array}{r} 4斤 \times 40錢 = 1.60錢 \\ 5斤 \times 30錢 = 1.50錢 \\ 6斤 \times 50錢 = 3.00錢 \\ \hline 15) 6.70錢 \\ = 40錢 \frac{2}{3} 答 \end{array}$$

合計十五斤の價を即金六圓十錢あり故に十五斤を以て金六圓十錢を除き平均一斤の價金四十錢三分二を得て答とす

(32) 乾酪四十個の内十個を一割の利を得て賣残りを一割二分の利を得る然る時平均何割の利に當るや

(33) 洋酒店にて葡萄酒を調合するに一壺に付金六十

錢の酒二百五十壺七十五錢の酒一百八十壺八十錢の酒二百壺を混和せり然る時此混和酒一壺の價を幾何に定めし至當あるや

但錢以下は四捨五入を用ゆ

(34) 負債を辨償するあり共同利ありて其一は金二百十二圓ありて一年を経其二は金二百二十四圓ありて二年を経其三は金二百三十六圓ありて三年を経たり今此全額通利を以て算する時何ヶ年の利金を拂ふべきや

(35) 金一千六百圓の織物を賒買し其四分一は六個月限り五分一は五個月限り殘餘を四個月限りは拂

ふらき約をふせり今此全額を一時に拂ふ時ハ何
個月限りふ渡りて至當ありや

(36) 金六千圓の米を四個月限り賒賣の約をふせり然
るふ内金二千圓を其月の末に請取金一千五百圓
を二個月の後收入せり然る時々殘金を何個月の
後請取至當ありや

(37) 或人果園の梨若干を取り其三分一を一個六厘宛
四分一を一個八厘宛其残りを一錢一錢二厘宛に
賣まりといふ然る時々平均一個の價幾何ありや
(38) 學校を新築するふ下日一人の賃金二十錢を給する職
夫三百人金五十錢を給する職夫八百人金一圓を給

する職夫四百人を支用して落成をとりふ今此賃
金を人數に平均する時々一日一人の賃金幾何あ
るや

(39) 或人金一千二百圓の負債をかり其内金二百圓を
二個月の末に返却し金四百圓を五個月の後に辨
償し残る所の金員を満八個月ふして皆濟せり今
全額通利を以算する時々何個月分の利金を拂ふ
て可ありや

(40) 貿易商あり價金二千四百圓の生糸を賒買するふ
其全價四分一を品物引取の際直ちふ拂ひ三分一
の夫より満六個月限り殘金を満十個月限り拂ふ

るき條約をありたり。小紀元二千五百三十七年八月一日生糸引渡しの時。至り荷主前條約を變へ。金額一時は請取らんことを乞ふ。然る時。何年何月何日を期し。金額を渡す。至當なりや。

(47) 或人負債をあり。之を返却せしむ。小金額の五分一。三個月半。四分一。四個月半。三分一。五個月。其殘金。八個月。ふ。盡く償却せり。今此利金を金額通利を以て算せしむ。時。何個月分拂ふ。至當ありや。
但一日未滿は四捨五入を以て算をせしむ。

(48) 或人朋友。無利足よて金を貸し。一月一日。金六十圓。二月五日。金百五十圓。四月十日。金三百圓。

を返却せしむ。約定あり。今若此貸金金額を一時は辨償せん。とり。時。一月一日より。何月何日を期し。

(49) 人力車。ふ。乗し。急行をなす。始。三時。二十分の間。一時。間。ふ。四里。十町の割。走り。次。四時。三分の間。一時。間。ふ。三里。三十町の割。走り。次。四時。四十分の間。三里。十六町。走り。然る時。平均。一時間。幾里を走るや。

(50) 自園の茶を製せしむ。一斤の價金十五錢の茶。四百斤。金二十錢の茶。六百斤。金六十錢の茶。一千斤。金九十錢の茶。三百五十斤。を得たり。然る時。平均。一斤。

の價幾許に當るや 但錢以下は四捨五入を以て算するを要す
 (45) 或農夫三月一日に金一千圓の地面を買ひ内金二百五十圓を直ちに拂ひ残金を五月三日七月四日及び九月十日に金二百五十圓宛渡すへき約を成せし其後賣主之を破毀し残全額を一時に請取らんことを望む然る時何月何日を期し残金七百五十圓を拂ふ前約に應ずるべきや
 (46) 金七百圓の賒あり六個月を期し拂はんを約せ然るに三個月の後金一百圓を入金し五個月の後又金三百圓を拂ふ因り問ふ今前約と損益なりしや
 めんふり期月より何個月の後残金を渡すへきや

(47) 貿易商賒賣を成し時々日數に應じ必金利を代金に含蓄せしむ今九十日を期し金一千四百九十圓四十一錢の毛布を賒賣せし期限八十四日前に金五百圓を收入し此日より五十二日を過て又金五百二圓五十錢を請取り然る時々残金を期限後幾日を延へし至當あるや 但一日未滿は四捨五入を以て算すべし
 (48) 甲無利息あり金二百圓を八個月間乙に貸し又他時無利息あり金三百圓を六個月間貸したり今乙金八百圓を甲に貸し時々何個月無利息ありて互に平均を得るや
 (49) 甲西洋品を乙に賣るに價金五百圓の品を六個月

間金一千圓の品を四個月間金四百圓の品を八個月間賒賣を然るも亦茶若干斤を甲より十二個月間賒賣して互に平均を得るとりふ因て其代金を問或商農具を開墾場へ賣るも五月一日三個月賒して金六百圓の品を送り同月十五日四個月賒して金八百圓の品を送り六月一日六個月賒して金五百圓の品を送り同月十日金七百三十六圓の品を現金拂ひふく送るべき約定ありし今之を破毀して日限を期し全價額を一時に拂せんと云ふ然る時々其定期々何月何日を以てを履きや

筆算題叢卷之十一上終

定價金拾八錢

静岡鷹取町一丁目 編輯者 山本正至
 同 南番町 同 田澤昌永
 同 江川町 同 廣瀬市藏 版

諸	東京	山中市兵衛	濱松	一貫
同	同	東生龜次郎	同	齋藤太兵衛
同	同	江鳴喜兵衛	同	山下仁平
同	同	田中治兵衛	同	古澤良作
同	同	大野木市兵衛	同	松屋好五郎
同	同	松村九兵衛	同	開文社
同	同	片野東四郎	同	小松浦吉
同	同	栗田東平	同	古成壽三郎
同	同	鬼頭平兵衛	同	水屋源助
同	同	内藤傳右衛門	同	依藤俊平
同	同	綿岡佐橋	同	大森弘三郎
同	同	伊藤文吉	同	長山定昌
同	同	白木健次郎	同	廣瀬市藏
國	諸	肆	書	

